
新聞広告を制作するための

大分合同新聞

デジタル制作N-PDF広告入稿ガイド

Ver.1.06

CONTENTS

新聞社でのデータの流れ	2
制作環境と作業の流れ・制作準備	3-5
制作ルール 全般	6-12
制作ルール モノクロ原稿の確認とグレースケール化	13-15
PDFの作成	16
PDFのプリフライト	17-18
入稿について・広告原稿制作サイズ	19-20

※本ガイドで使用しているキャプチャーおよび文言は、Adobe CS6パッケージ製品から引用しています。

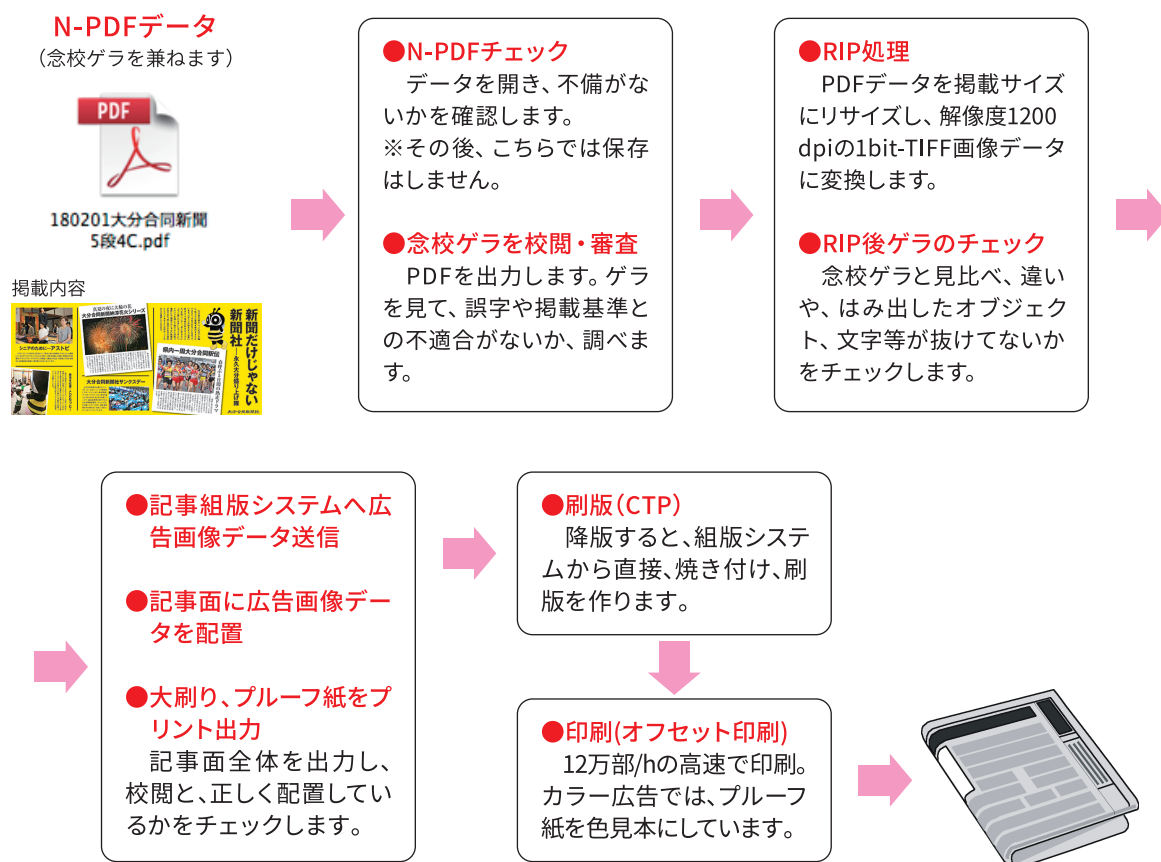
大分合同新聞社

ビジネスサポート部

<https://www.oita-press.co.jp/>

新聞社でのデータの流れ

大分合同新聞社では、広告データを受けてから印刷するまで、下に表記している行程を実施しています。商業印刷とは異なり、新聞制作の特性が存在します。そのため、それに即したデータの制作作業が発生します。



大分合同新聞のスクリーン設定

スクリーン線数	モノクロ 175線(lpi) カラー 210線(lpi)
網点角度	K = 45° C = 15° M = 75° Y = 0°
網点形状	スクエア
出力解像度	1200 dpi

「きれい」な新聞カラー広告を実現するために

カラー広告色見本プロファイル「NSAC」(エヌザック・Nihon Shimbun Ad Color)

NSACとは、日本新聞協会が策定した、新聞広告印刷のためのカラー広告色見本プロファイル。新聞輪転機の印刷特性を反映しているの、掲載紙面に即した色合いで、制作作業ができます。詳しくは日本新聞協会のホームページをご覧ください。

日本新聞協会ホームページ <http://www.pressnet.or.jp/adarc/edi/nsac01.html>

制作環境と作業の流れ

制作環境

画像編集加工



AdobePhotoshop CS2以上

レイアウト(画像は埋め込む)



AdobeIllustrator CS2以上

AdobeIndesign CS4以上

N-PDF作成



PDFプリフライト

AdobeAcrobatPro 9以上

●フォーマット

◎Mac版IllustratorおよびInDesignから書き出したPDF形式。

◎PDFはN-PDFおよびPDF/X-1aを利用。

※上記以外のアプリケーションからPDFの作成は不可。

●使用システム

◎MacOSX(※MacOS9・Windowsは使用不可)。

●アプリケーション

◎下記のMac版ソフトを使用する。

◎各アプリケーションは最新のバージョンにアップデートする。

AdobePhotoshopCS2以上

AdobeIllustratorCS2以上

AdobeInDesignCS4以上(※モノクロ原稿は使用不可)

AdobeAcrobat 9 Pro以上(※データチェック用に必要)

●ウイルスチェック

◎ウイルスチェックを必ず行い、ウイルスに感染していないことを確認する。

●データ量

◎入稿データのデータ量は400MB以下にする。

●プリフライト

◎規定のプリフライトプロファイルを使用しAcrobatProでプリフライトを実施し、不備のないことを確認する。

本ガイドは日本広告業協会が定めた、新聞広告用のN-PDFファイル制作ガイドに準拠しています。

詳しい制作の手順は

【日本広告業協会】https://www.jaaa.ne.jp/2012/06/n_pdf/

をご覧ください。

制作準備 [設定ファイルのダウンロード・読み込み]

設定ファイルのダウンロード

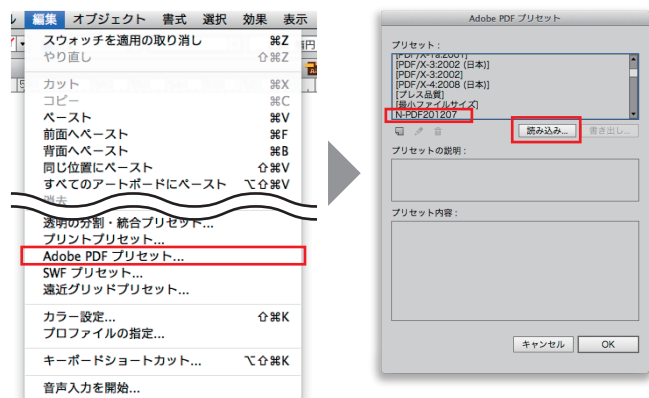
日本広告業協会WEBサイト (https://www.jaaa.ne.jp/2012/06/n_pdf/) から[N-PDF設定ファイル]をダウンロードする。



AdobePDF プリセットの読み込み [Illustrator Indesign]

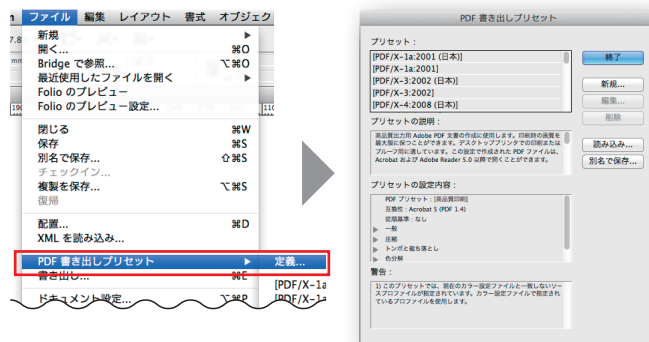
ダウンロードした規定の[AdobePDFプリセット]をレイアウトアプリケーションに読み込む。

IllustratorCS2 以上



- 1.[編集]メニューから[AdobePDFプリセット]を選択する。
- 2.[読み込み]ボタンをクリックし、ダウンロードした規定の[PDF設定]を読み込む。

InDesignCS4 以上

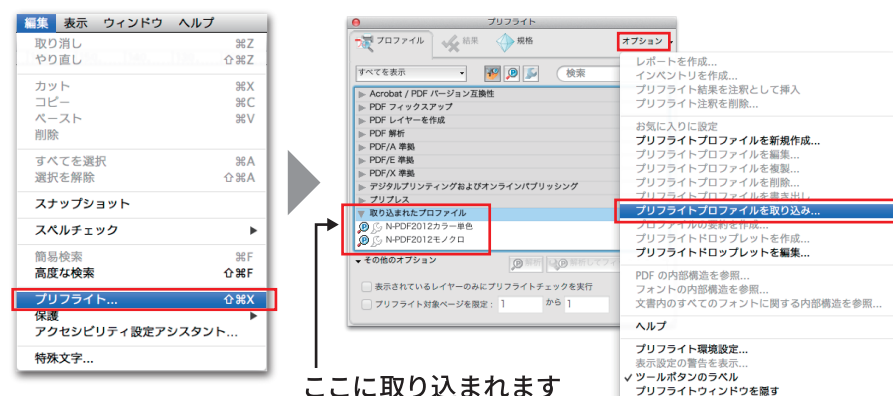


- 1.[ファイル]メニューから[PDF書き出しプリセット]の[定義]を選択する。
- 2.[読み込み]ボタンをクリックし、ダウンロードした規定の[PDF設定]を読み込む。

プリフライトプロファイルの取り込み [Acrobat]

ダウンロードした規定の[カラー・単色専用、モノクロ専用プリフライトプロファイル]を、それぞれAcrobatに取り込む。※Acrobat8以下は使用不可。

AcrobatPro9 以上



「編集」メニュー (Acrobat9は、「アドバンスド」メニューから) から「プリフライト...」を選択。プリフライトパネルの「オプション」をクリックし、「プリフライトファイルを取り込み...」を選択。

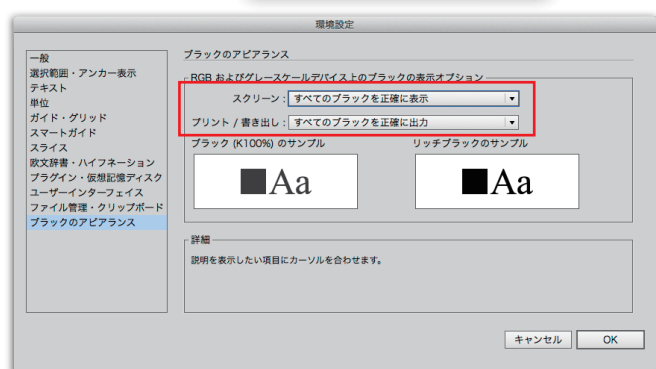
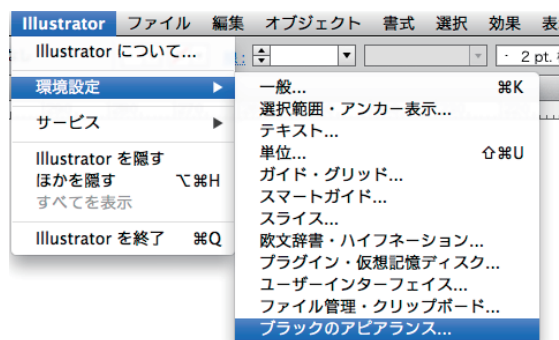
[N-PDF2012カラー単色.kfp]
[N-PDF2012モノクロ.kfp]

を取り込む。

制作準備 [環境の設定]

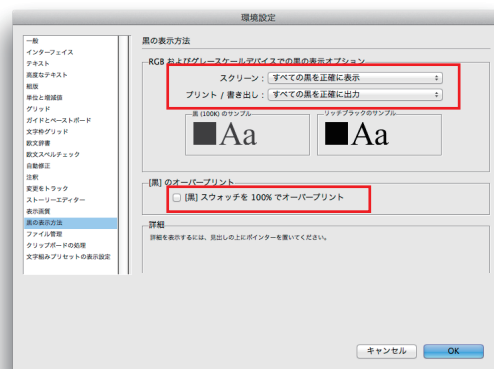
環境設定を確認する [Illustrator Indesign]

IllustratorCS2 以上



- 1.[Illustrator]メニューから[環境設定]の[ブラックのアピアランス]を選択する。
- 2.スクリーン:[すべての黒を正確に表示]を選択する。
プリント/書き出し:[すべての黒を正確に出力]を選択する。

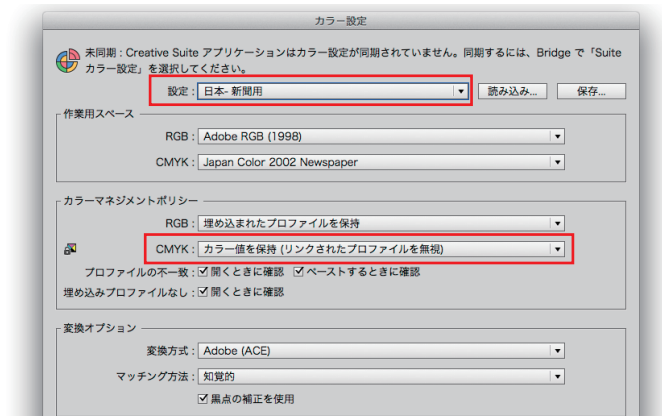
InDesignCS4 以上



- 1.[環境設定]の[黒の表示方法]を選択する。
- 2.スクリーン:[すべての黒を正確に表示]を選択する。
プリント/書き出し:[すべての黒を正確に出力]を選択する。
※「黒」スウォッチを100%でオーバープリントの選択を行なうと、[黒]スウォッチで作成したオブジェクトは自動でオーバープリントが適用されてしまうので、チェックはしない。

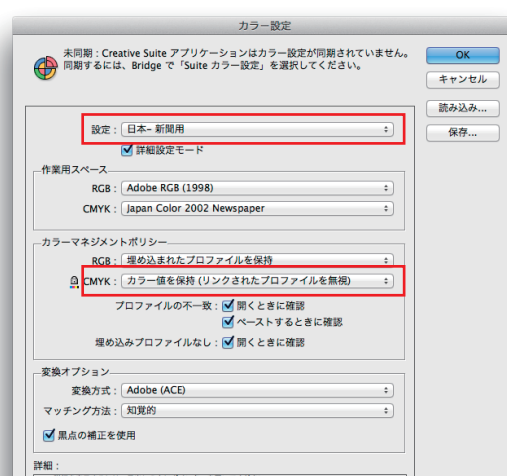
カラー設定 [Illustrator Indesign] ※PhotoshopについてはP10を参照ください。

IllustratorCS2 以上



- 1.[編集]メニューから[カラー設定][日本-新聞用]を選択する。
- 2.[カラーマネジメントポリシー]の[CMYK]を[カラー値を保持(リンクされたプロファイルを無視)]に設定する。
※[設定]のタブでは、[Adobe Illustrator 5.5をエミュレート]は使用しないでください。
※その他の項目は、作業に応じた適切な設定に変更してください。

InDesignCS4 以上



- 1.[設定]のタブで[Adobe InDesign 2.0CMSエミュレートオフ]は使用しない。
- 2.[カラーマネジメントポリシー]のCMYKは[カラー値を保持(リンクされたプロファイルを無視)]を選択する。

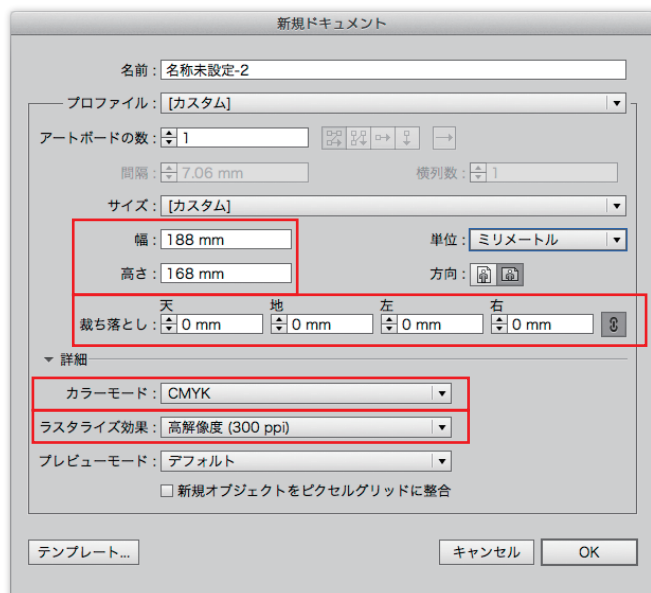
制作ルール 全般

原稿サイズの設定 [Illustrator Indesign]

弊社規定の原稿サイズをアートボードサイズ・ページサイズとして設定する。(サイズはP20を参照してください。)

IllustratorCS2 以上

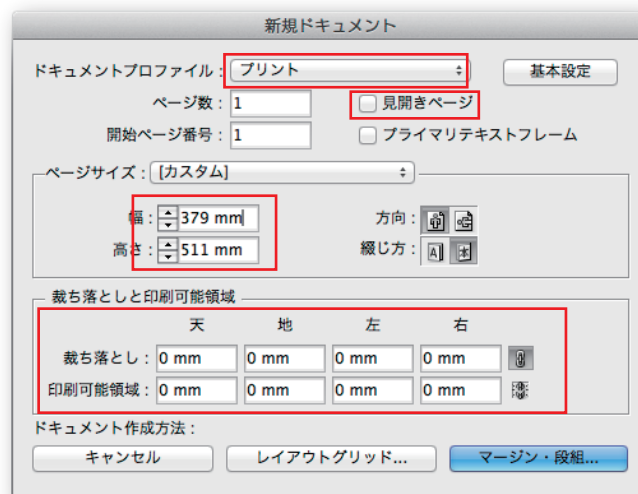
※弊社半5段(188mm×168mm)原稿の場合



- 1.[ファイル]メニューから[新規]を選択する。
- 2.原稿サイズを[幅]と[高さ]に設定する。
- 3.[裁ち落とし]を天地左右0mmに設定する。
(IllustratorCS2,CS3には設定がありません。)
- 3.[カラーモード]を[CMYK]に設定する。
- 4.[ラスターライズ効果]を[高解像度(300ppi)]に設定する。
(IllustratorCS2は効果メニューから設定する。)

InDesignCS4 以上

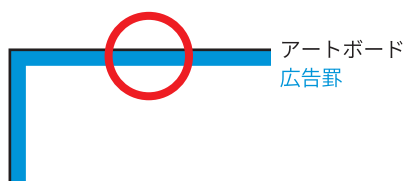
※弊社15段罫あり(379mm×511mm)原稿の場合



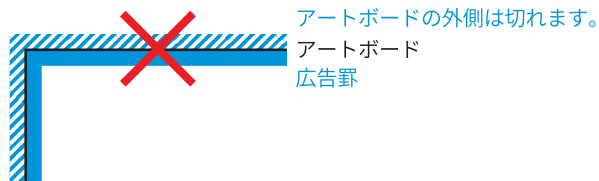
- 1.[ドキュメントプロファイル]を[プリント]に設定する。
(InDesignCS4には設定項目なし。)
- 2.[見開きページ]にはチェックを入れない。
- 3.原稿サイズを[ページサイズ]として設定する。
- 4.[裁ち落とし]と[印刷可能領域]は天地左右0mmに設定する。

広告罫について [Illustrator Indesign]

広告罫はアートボードの内側に収めて下さい。



広告罫(または広告原稿)の外側とアートボードを合わせる。広告罫は必ずアウトライン化してください。



アートボードからはみ出した罫やオブジェクトはPDF変換後、切れてしまいます。



広告罫ナシの広告の場合

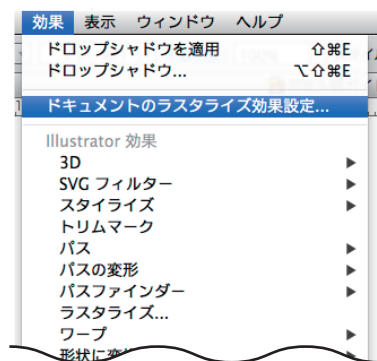
広告を外枠罫で完全に巻かず、余白をもたせたい場合は、広告サイズの透明罫(塗りなし)を入れて制作します。
PDF入稿の際には、「バウンディングボックス有り」または「透明罫あり」と指示をお願いします。

制作ルール 全般

書類の透明設定の確認 [Illustrator Indesign]

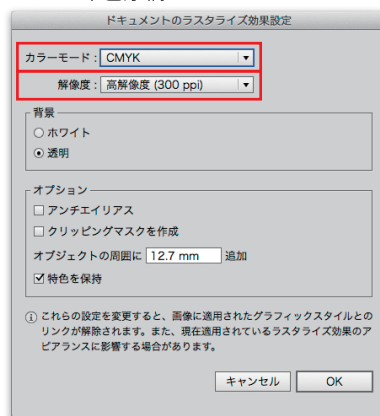
品質の劣化を招く可能性があるため、適切な透明設定を行う。

IllustratorCS2 以上



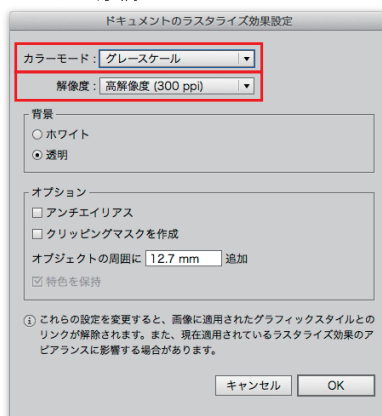
[効果]メニューの[ドキュメントのラスターライズ効果設定]を開く。

カラー・単色原稿



[カラーモード]は[CMYK]を選択し、
[解像度]を[高解像度 300ppi]に設定する。

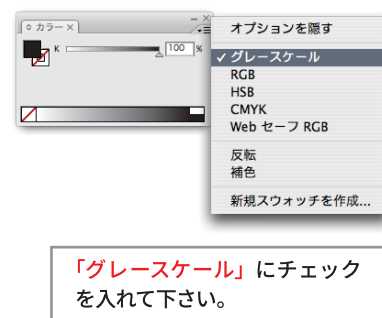
モノクロ原稿



[カラーモード]は[グレースケール]を選択し、
[解像度]を[高解像度 300ppi]に設定する。

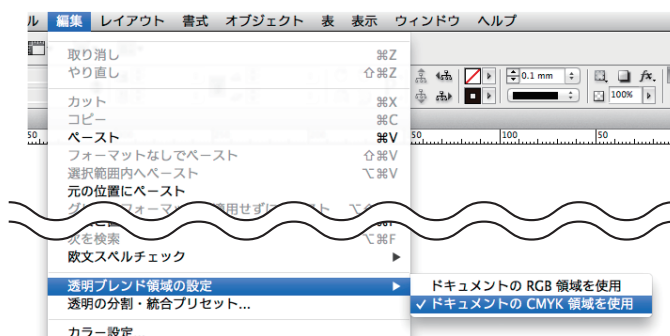


「CMYK」にチェックを入れて下さい。
※RGBは使用不可



「グレースケール」にチェック
を入れて下さい。

InDesignCS4 以上



[編集]メニューの[透明ブレンド領域の設定]
[ドキュメントのCMYK領域を使用]に設定する。

フォント・線について [Illustrator Indesign]

- ・フォントサイズは、**7pt以上**を使用して下さい。
- ・フォントは、必ずすべて**アウトライン化**して下さい。フォントデータを含む孤立点は、全て削除して下さい。
- ・線幅は、**0.12pt(0.042mm)以上**を使用して下さい。**※白抜きは0.15pt以上。**
- ・スミ文字は、なるべくKのみで表現して下さい。

制作ルール 全般

使用色 [Illustrator Indesign]

原稿データ内に不要な版の色指定はしない。

カラー・単色原稿

CMYK、グレースケール、モノクロ2階調のみ使用。RGB、スポットカラー(カスタムカラー)は使用不可。

弊社では単色(特色)印刷は行っておりません。単色カラーは、CMYKの掛け合わせ(※総インク使用量240%以下)で表現して下さい。濃淡を付け表現する場合は、各色の割合を変えずに設定して下さい。

(例:M・100%+Y・80% 濃度を80%に薄くする⇒ M・80%+Y・64%)

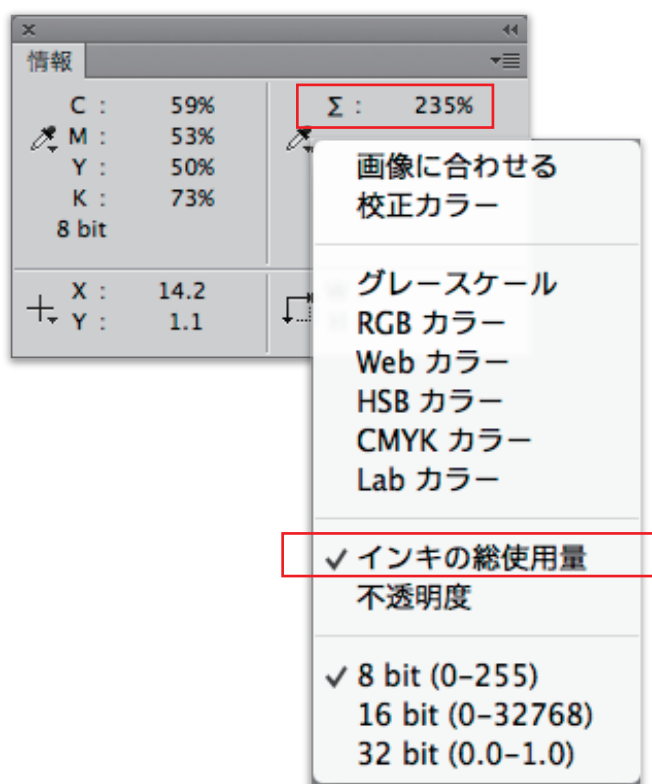
モノクロ原稿

グレースケール、モノクロ2階調のみ使用。CMYK、RGB、スポットカラー(カスタムカラー)は使用不可。

総インキ量 (TAC 値) [Illustrator Indesign]

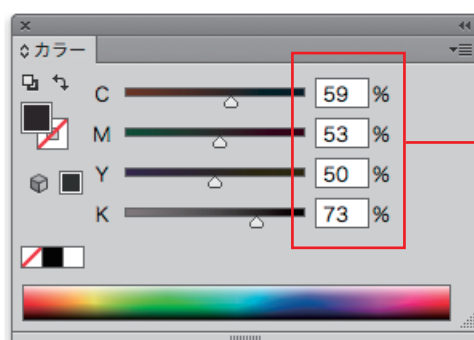
全てのオブジェクト・画像の総インキ量(TAC値)を240%以下にする。

PhotoshopCS2 以上



IllustratorCS2 以上

InDesignCS4 以上



合計値を
240%以下に
設定



◎CMYKの総インキ量をTAC(Total Area Coverage)値と言いますが、この値が高すぎると、インキの盛り過ぎが原因となり、重なった用紙が接着してしまったり、広告紙面が汚れる可能性があります。TAC値240%は必ず守って下さい。

◎総インキ量(TAC値)の調整は、濃度をただ下げれば良いだけではありません。色味の変化を最小限に抑えて、高濃度部分のみ調整するには、製版知識が必要となります。製版会社等に依頼するか、新たに入力し直す事をお勧めします。

レイヤー・オブジェクト設定

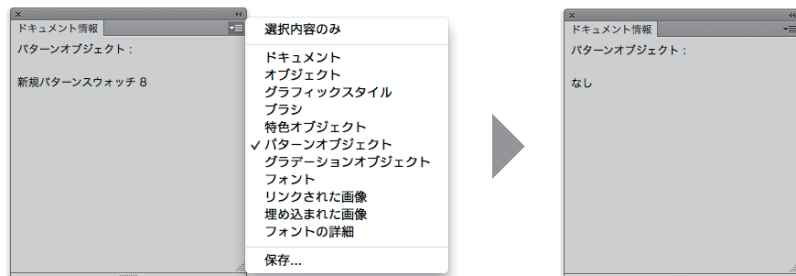
テンプレートレイヤー、非表示レイヤー、非印刷レイヤー、ロックレイヤー、非表示オブジェクト、ロックオブジェクトの設定はしない。

制作ルール 全般

パターンの分割 [Illustrator]

Illustrator書類上でパターンを使用している場合は、分割・拡張を行う。

※パターンオブジェクトの有無は[ドキュメント情報]パネルで確認してください。



- 1.[ドキュメント情報]パレットで、[選択内容のみ]のチェックを外して、[パターンオブジェクト]を選択すると、原稿内で使用しているパターンオブジェクトが表示される。パターンの分割は、[オブジェクト]メニューの[分割・拡張]を行う。
- 2.パターン分割後は、表示が「なし」になることを確認する。

配置素材 [Illustrator Indesign Photoshop]

画像・素材の配置はファイルメニューから[配置]を選択して行い、他のアプリケーション上でコピーしたオブジェクトをペーストしない。

Illustrator に配置出来るファイル

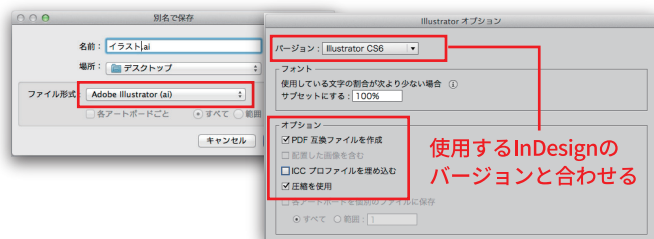
Photoshopで作成したPSD、EPS、TIFF形式。
Illustratorのレイアウトファイル上にIllustratorファイルを配置する(ネスティング)処理は不可。



◎配置した画像データは全て埋め込みを行なってください。リンク配置のままPDFを作成すると意図しない仕上がりが結果となる場合があります。

InDesign に配置出来るファイル

Photoshopで作成したPSD、EPS、TIFF形式
Illustratorで作成したIllustrator形式(下位保存されたデータは使用不可。)
※配置した画像データ・素材データはリンク配置、埋め込み配置どちらでも可。
下の形式のIllustratorファイルのみInDesignに配置可。



使用するInDesignのバージョンと合わせる

Photoshop

- ・CMYK、グレースケール画像は[8bit/チャンネル]を使用する。
- ・多値画像は最終出力解像度が300dpi前後、二値画像は1200dpi前後にする。
- ・拡大縮小率は多値、二値画像共に80～120%とする。
- ・ICCプロファイルの埋め込みはしない。
- ・画像は適切な範囲でトリミングし、レイヤーは統合する。
- ・ハーフトンスクリーン(スクリーンパラメータ)の設定はしない。
- ・画像データのフォーマットは、PSD(Photoshopネイティブ形式)形式を推奨するが、EPS、TIFF形式も使用可。
- ・EPS、TIFF形式は以下のルールに従い、適切に使用する。その他のファイル形式の使用は不可。



◎二値画像を使用した場合、レイアウトデータの設定や構成によりPDF作成時に解像度やカラーモードが変化してしまう現象が報告されています。PDF上で確認をしていただくとともに、不具合が出た場合はトレースまたは別の保存形式(例:EPSをTIFFに)にて対応をお願いします。

EPS形式保存時の[EPSオプション]

- ・[エンコーディング]は、[ASCII85]を選択する。
- ・[ハーフトンスクリーンを含める]のチェックを外す。
- ・[トランスファー関数を含める]のチェックを外す。
- ・[ポストスクリプトカラーマネジメント]のチェックを外す。
- ・[画像補間方式]のチェックを外す。



全てチェックを外す

TIFF形式保存時の[TIFFオプション]

- ・[画像圧縮]は[なし]または[LZW]、[ZIP]を選択する。

※JPEG圧縮は不可。



制作ルール 全般

Photoshop のカラー設定

PhotoshopでのTAC値の制限方法

RGBからCMYK 変換時のTAC値を240%以下にするため、CMYK 変換プロファイルは[Japan Color 2002 Newspaper]を使用し、グレー変換プロファイルは[Dot Gain 25%]を使用する。

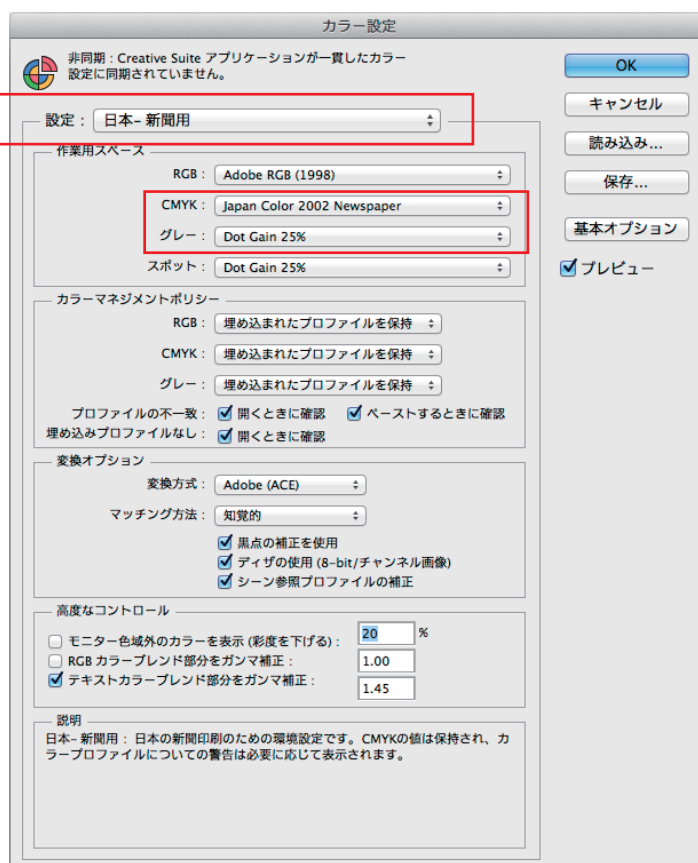
- 1.[Photoshop(または編集)]メニューから[カラー設定]を選択する。
- 2.[作業用スペース]の[CMYK]から[Japan Color 2002 Newspaper]を選択する。
- 3.[作業用スペース]の[グレー]から[DotGain25%]を選択する。
- 4.[OK]をクリックする。

※上記以外の設定は、ご使用の環境に合わせて変更してください。

あらかじめ[設定]の中に[日本-新聞用]というPhotoshopのデフォルトの設定が用意されています。

※IllustratorとPhotoshopのカラー設定を合わせない場合、Photoshopで加工した写真をIllustratorに配置したときに、Photoshopで見る色合いと違って見えます。

[カラー設定]とは、あくまでもTAC値の制限を目的にしたものです。色合いを調整するものではありません。



色合いの調整はその目的に応じ、補正が別途必要です。高濃度部分(TAC 値 241% 以上)のみを補正するには製版知識が必要となります。製版会社等に依頼することをお勧めします。

また、上記は新聞用のカラー設定であり、チラシ・ポスターなどで同じ写真を使用する場合は、元画像から媒体や印刷機に合わせたカラー設定、写真加工を再度行わなければなりません。

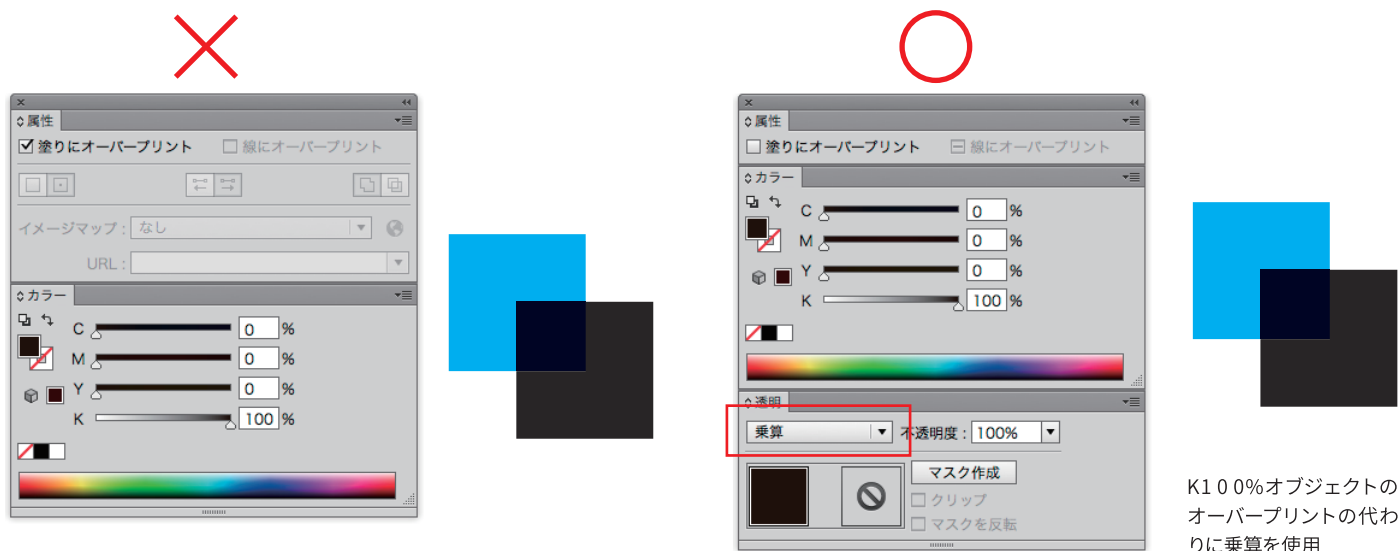
制作ルール 全般

オーバープリント [Illustrator Indesign]

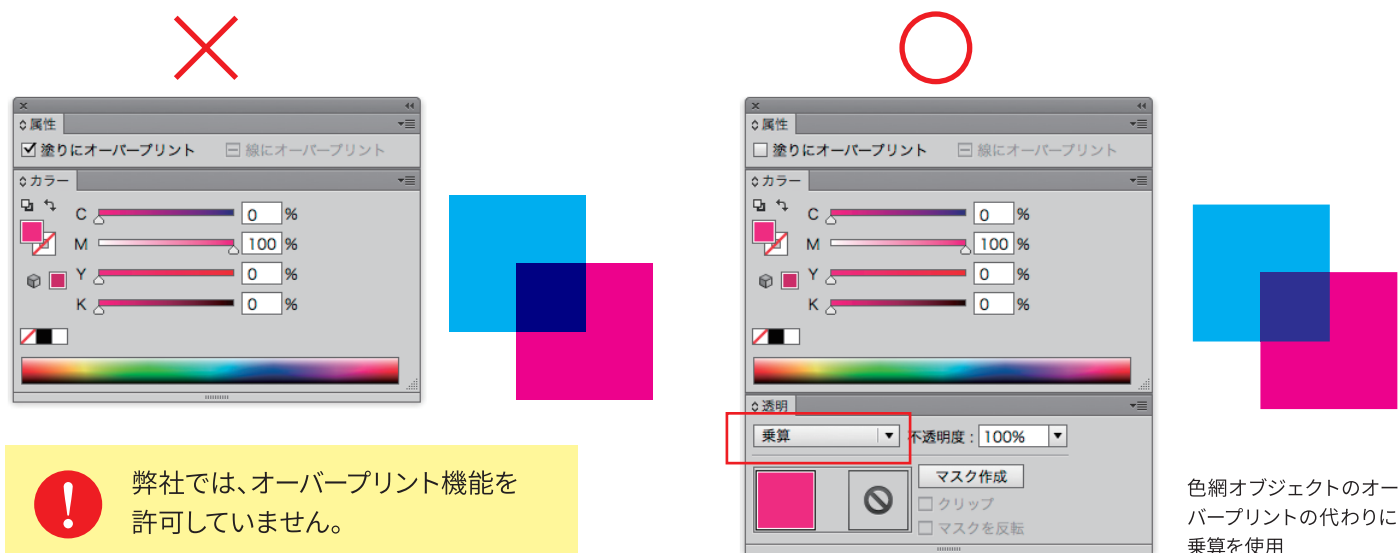
弊社では、オーバープリント機能を許可していません。K100%オブジェクトをノセ処理したい場合はオーバープリントの設定ではなく、「乗算」を推奨します。

色網のオブジェクトにオーバープリント設定は不可。色網オブジェクトにオーバープリント設定を行ないたい場合は、乗算機能を使用してください。

●K100%オブジェクト



●色網オブジェクト



弊社では、オーバープリント機能を許可していません。

■参考／オーバープリントの確認方法

オーバープリントの確認は[表示]メニューの[オーバープリントプレビュー]機能を活用してください。

オーバープリントプレビュー OFF

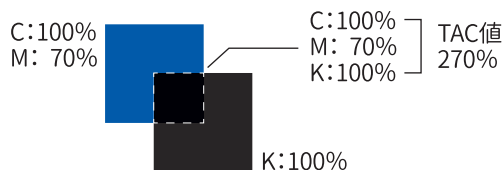


オーバープリントプレビュー ON



乗算使用時の注意事項

ノセ部分のTAC値が240%を超えないよう注意してください。



制作ルール 全般

その他 注意事項

- ◎制作物の外側に不要なオブジェクト・文字・孤立点(不要なアンカーポイント)があると、新聞社のRIPではすべてのデータが含まれる範囲を出力するので必ずチェックして取り除いてください。
- ◎制作物の中に孤立点がある場合も、ゴミとなって表れることがあるので削除してください。
- ◎ガイドラインも認識されることがあるので、削除してください。
- ◎不要なレイヤーや、広告原稿に含まれない注釈などは入れないでください。

[×悪い例]



- ◎複雑なパスや、アンカーポイントが非常に多いデータは、出力エラーを起こすことがあるので、画像ファイルとして配置するか、不要なアンカーポイントを削除するなど事前に回避してください。
- ◎グループ化はマスクや複合パスなど必要最低限に留め、オブジェクトはなるべくグループ化を解除しロックもはずしてください。
- ◎混乱した作業状況をそのままファイルに持ち込まない。同じ色で重なり合うオブジェクトは合体させたり、レイアウト要素ごとに必要最低限にレイヤーを分けるか統合するなど、整理整頓されたファイルを作成してください。
- ◎7pt未満のヌキ文字、0.12pt未満の罫、5%未満の平網等を使用すると、本機印刷時にツブレ・カスレ・再現されないなど不都合が発生する場合があるので、運用の際には注意してください。
- ◎二次元コードは、K(スミ)のみで作成してください。
- ◎本ガイドで扱っていない機能、形式等の運用は注意してください。

制作ルール モノクロ原稿の確認とグレースケール化

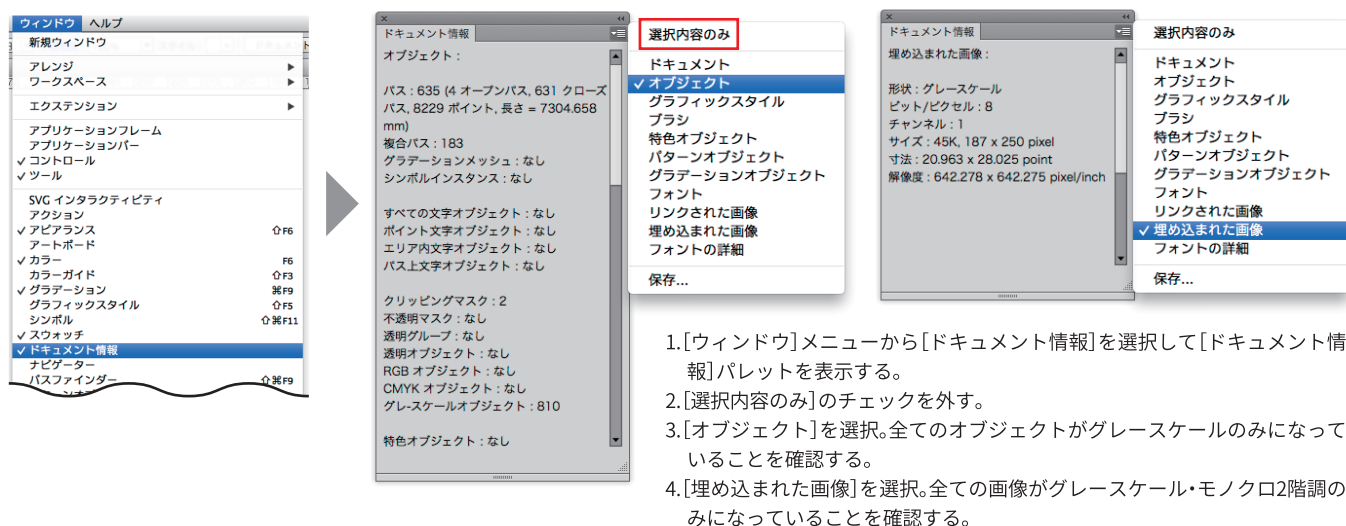
モノクロPDF作成にあたり、モノクロ原稿独自の注意点や確認事項、処理等が必要です。

以降の手順を参考に原稿内のグレースケールオブジェクト確認およびグレースケールへの変換を行ってください。

注意点

- ・使用ソフトはIllustrator、Photoshopのみ使用可。**InDesignの使用は不可。**
- ・原稿オブジェクトはグレースケールのみ使用する。CMY0%+K0~100%、CMYK、RGB、スポットカラーは使用不可。
- ・[効果]メニューの[ドキュメントのラスターライズ効果設定]の[カラーモード]を[グレースケール]に設定する。
- ・[ドキュメント情報]パレットにて、全てのオブジェクト・埋め込み画像がグレースケール・モノクロ2階調のみになっていることを確認する。
- ・配置画像に塗りの設定は行わない。
- ・透明オブジェクトを使用している場合は、[アピアランスの分割]をした後[透明部分の分割・統合]でプリセット[高解像度]を選択して分割・統合を行い、分割された画像を選択してグレースケールに変換する。

原稿内オブジェクトの確認方法



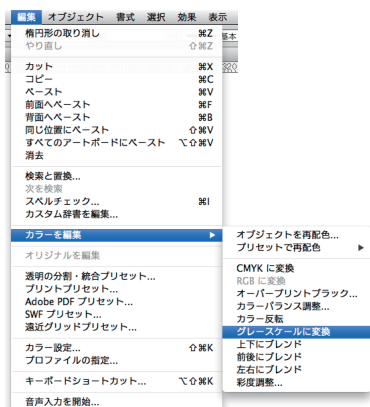
1.[ウィンドウ]メニューから[ドキュメント情報]を選択して[ドキュメント情報]パレットを表示する。

2.[選択内容のみ]のチェックを外す。

3.[オブジェクト]を選択。全てのオブジェクトがグレースケールのみになっていることを確認する。

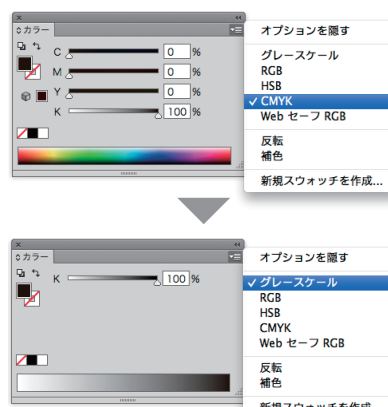
4.[埋め込まれた画像]を選択。全ての画像がグレースケール・モノクロ2階調のみになっていることを確認する。

グレースケールへの変換方法 1



オブジェクトを選択し、[編集]メニューの[カラーを編集]から[グレースケールに変換]を選択する。

グレースケールへの変換方法 2



オブジェクトを選択し、[カラーパレット]から[グレースケール]を選択する。



IllustratorCS2は[フィルタ]メニュー→[カラー]→[グレースケールに変換]を選択します。IllustratorCS2使用時はグラデーション等、一部のメニューでグレースケール変換が出来ません。グラデーションはスライダを一つずつ選択して上記の変換方法2を行ってください。

制作ルール モノクロ原稿の確認とグレースケール化



全ての効果・フィルターメニュー・透明オブジェクトはCMYKでイメージが作成される為、モノクロ(グレースケール)PDF原稿作成時は透明オブジェクトをラスター化(透明の分割・統合)し、グレースケールモードに変換する必要があります。以降①～⑤の手順で処理を行ってください。

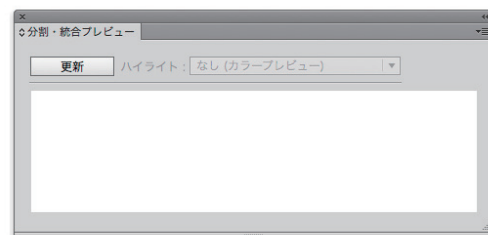
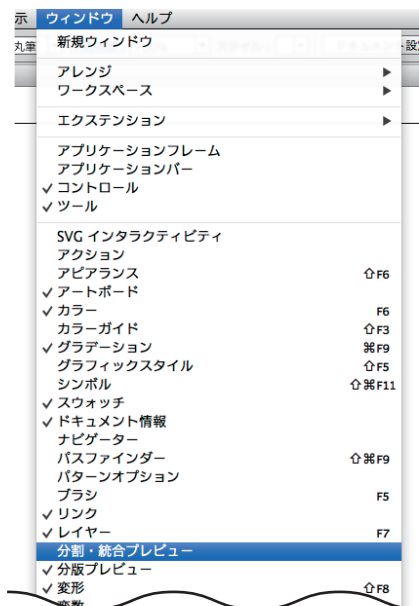
①透明オブジェクトが使用されている場所を特定する。

※[透明オブジェクト]とは…[ウィンドウ]メニューの[効果]→[スタイライズ]の「ドロップシャドウ」や「光彩」などのフィルタをかけたもの。

[ウィンドウ]メニューの[分割・統合プレビュー]を選択して[分割・統合プレビュー]パレットを表示する。

[更新]ボタンをクリックし、ハイライト[透明オブジェクト]を選択する。

※[透明オブジェクト]がグレーアウトされて選択できない場合はドキュメント上に透明機能が使用されていないので、以降の処理は不要。



[更新]ボタンをクリックする。



ハイライト[透明オブジェクト]を選択し透明オブジェクト使用箇所を特定する。

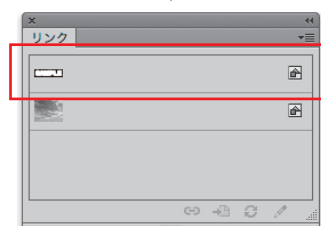
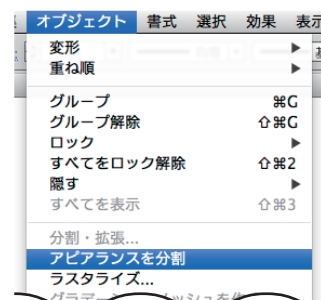
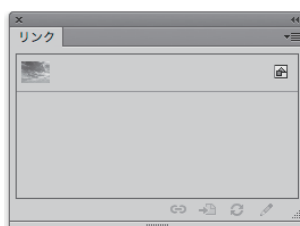
②アピアランスの分割（透明部分の画像化）

[分割・統合プレビュー]パレットで確認した透明オブジェクトを選択し、[オブジェクト]メニューの[アピアランスを分割]を選択する。

※[アピアランスを分割]がグレーアウトしている場合や、画像に透明効果を使用している場合の処理は不要。



透明オブジェクトを選択する。



透明オブジェクトが画像化される。

制作ルール モノクロ原稿の確認とグレースケール化

③透明部分の分割・統合

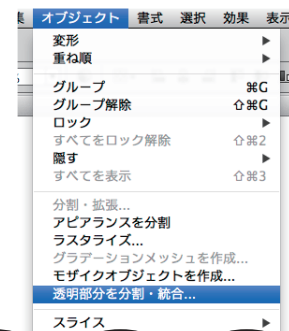
- 1.[分割・統合プレビュー]パネルの[ハイライト]から[影響されるすべてのオブジェクト]を選択する。
- 2.透明オブジェクトが影響するオブジェクトを確認する。
- 3.影響されるすべてのオブジェクトを選択する。
- 4.[オブジェクト]メニューから[透明部分を分割・統合]を選択する。
- 5.[プリセット]から[高解像度]を選択して[OK]をクリックする。



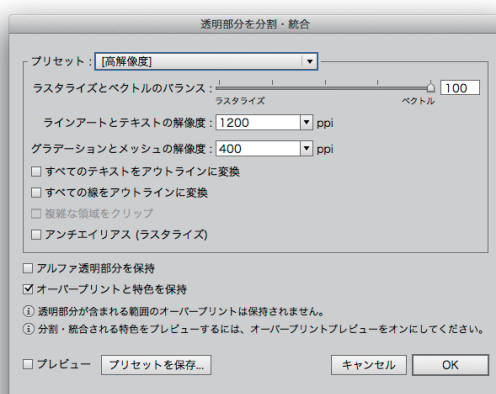
透明が影響されるすべてのオブジェクトを確認する。



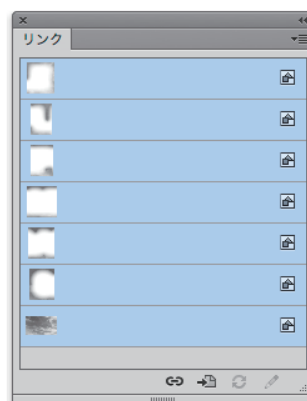
透明が影響されるすべてのオブジェクトを選択する。



透明が影響されるすべてのオブジェクトを選択する。



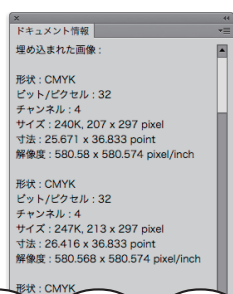
プリセットから[高解像度]を選択してOKをクリックする。



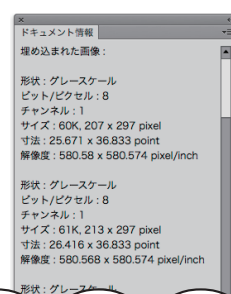
透明オブジェクトが分割され、ドキュメント内の透明属性がなくなる。

④分割した画像のグレースケール化

[透明部分を分割・統合]で作成した画像はCMYKモードに変換されてしまう為、[編集]メニューの[カラーを編集]から[グレースケールに変換]でグレースケール化を行う。※IllustratorCS2は[フィルタ]メニュー→[カラー]→[グレースケールに変換]を選択する。



分割・統合により画像がCMYKモードに。



該当部分を選択して、[グレースケールに変換]を選択する。

⑤最終確認

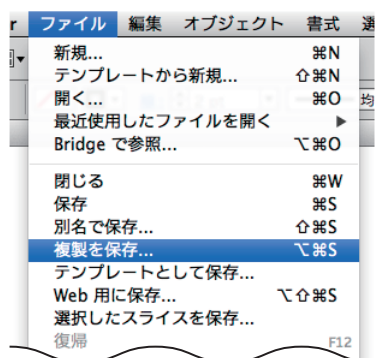
P13の「原稿内オブジェクトの確認方法」を参照して原稿内のオブジェクト・画像がグレースケール・モノクロ2階調のみで作成されているか最終確認を行ってからPDFを書き出す。

PDFの作成

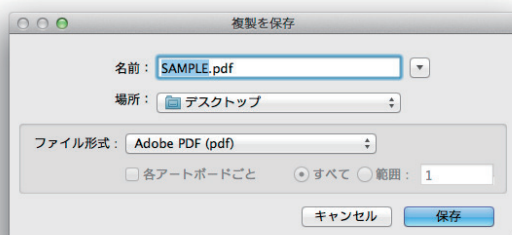
PDFの書き出し [Illustrator Indesign]

規定の[PDF設定]を利用して、Illustrator・Indesignから最終送稿PDFデータを保存する。
最終送稿PDFデータのフォーマットはPDF形式、作業中のデータ保存はネイティブ形式を利用する。
Acrobat Distillerやその他のアプリケーションからは送稿用PDFデータを作成しない。

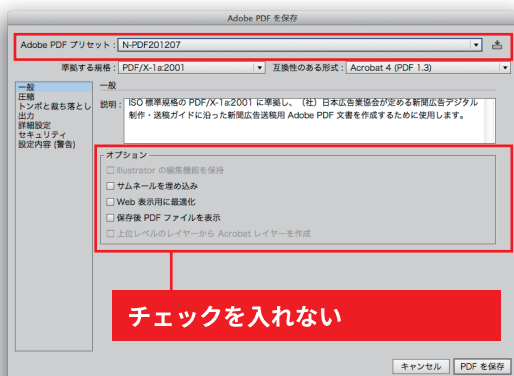
IllustratorCS2 以上



1.[ファイル]メニューから[別名で保存]または[複製を保存]を選択する。



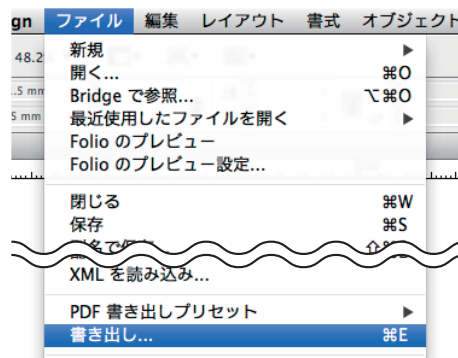
2.[ファイル形式]から[Adobe PDF(pdf)]を選択する。ファイル名と保存場所を指定して[保存]をクリックする。



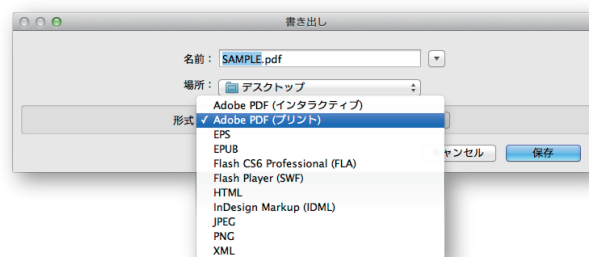
3.[Adobe PDFプリセット]から[N-PDF201207]を選択。
[PDFを保存]をクリックする。

N-PDF 完成

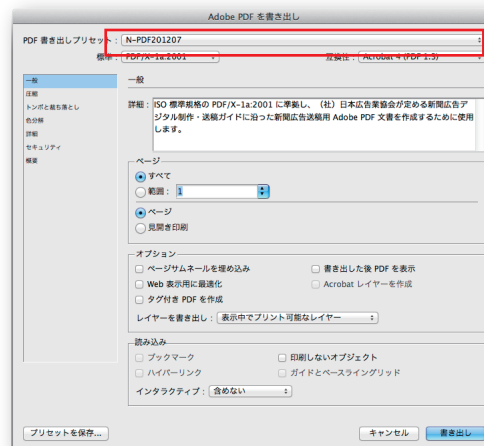
IndesignCS4 以上



1.[ファイル]メニューから[書き出し]を選択する。



2.[形式]から[Adobe PDF(プリント)]を選択し、ファイル名と保存場所を指定して[保存]をクリックする。



3.[PDF書き出しプリセット]から[N-PDF201207]を選択。
[PDFを保存]をクリックする。

N-PDF 完成

PDFのプリフライト

プリフライトの実施（N-PDF2012 準拠 PDF プリフライト）

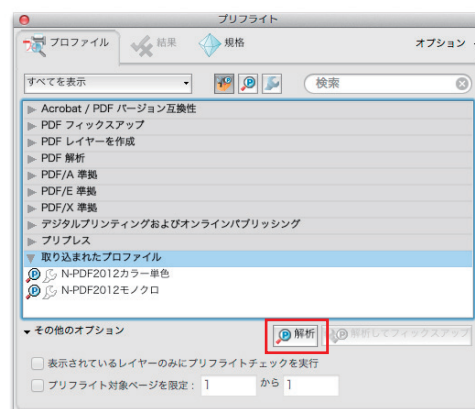
原稿の種類に応じた規定の[カラー・単色原稿専用]または[モノクロ原稿専用]プリフライトプロファイルを用いて、最終送稿用PDFデータの検査を行う。



PDF化した原稿をAcrobatで開く。



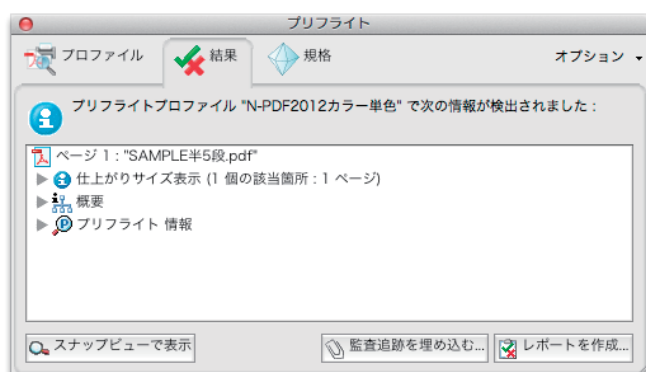
1.[編集]メニューから[プリフライト]を選択する。(Acrobat9は[アドバンスド]メニュー)



2.[プリフライト]パネル内に取り込んだ規定のプロファイルを選択して[解析]をクリックする。

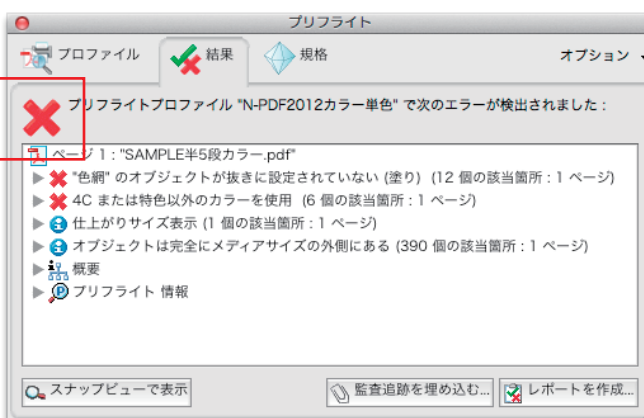
- ▶ カラー原稿は[N-PDF2012 カラー単色]
- ▶ モノクロ原稿は[N-PDF2012 モノクロ]

○ 確認が必要なレポート:確認後、送稿可



PDFの仕上がりサイズは[情報]項目として必ず表示されます。サイズ以外の[情報]項目を確認後問題があればレイアウトデータ(Illustrator、Indesign)に戻り修正。

× エラーが検出されたレポート:送稿不可



レイアウトデータに戻り不備箇所を修正する。

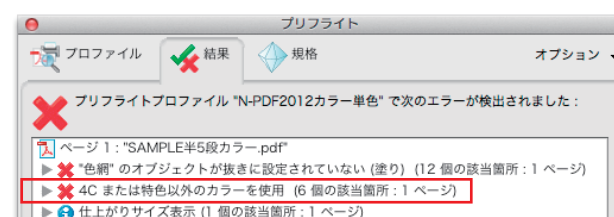


Adobe Acrobat Proで動作する規定のプリフライトチェックでは、[K100%オブジェクトのオーバープリント設定]と[インキ総量(TAC値)]のチェック*は行いません。最終PDFから出力したプルーフで確認するとともに、[出力プレビュー]を活用して次ページの確認が必要です。

※[オーバープリント処理後のインキ総量(TAC 値)]、[グラデーションのインキ総量(TAC 値)]、[画像のインキ総量(TAC 値)]

参考

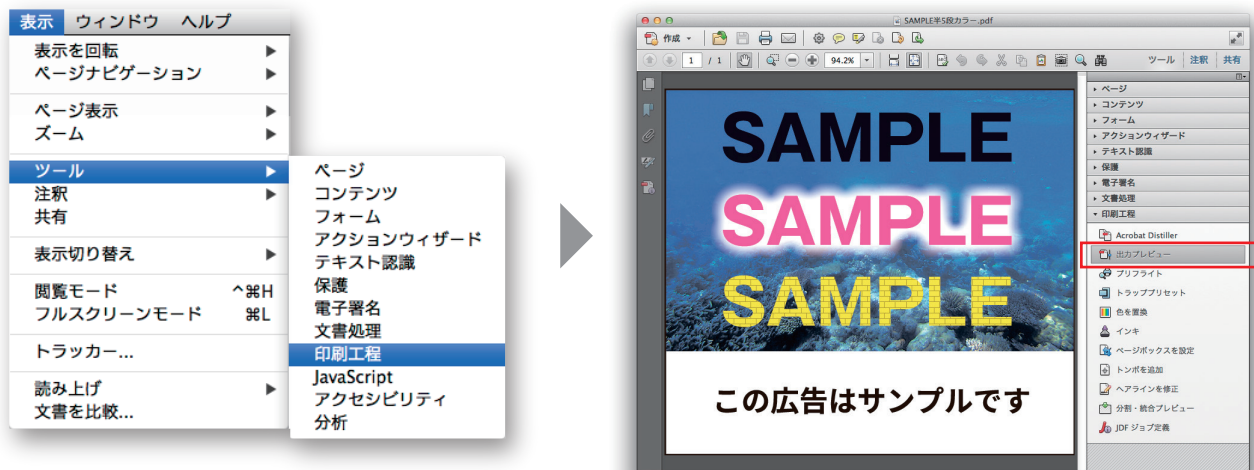
プリフライトで、パターンオブジェクトが検出された場合、[4Cまたは特色以外のカラーを使用]のエラーが表示されます。これは、パターンの検出に合わせて表示されています。そのため、パターンオブジェクトに分割・拡張処理を行う事でエラーを回避できます。



PDFのプリフライト／目視で確認する項目

オーバープリント・総インキ量(TAC値)の確認

[プリフライト]で確認できない項目は、[出力プレビュー]を活用して、作成したPDFが意図したノセヌキ結果となっていることや、総インキ量(TAC値)の検証を行う。

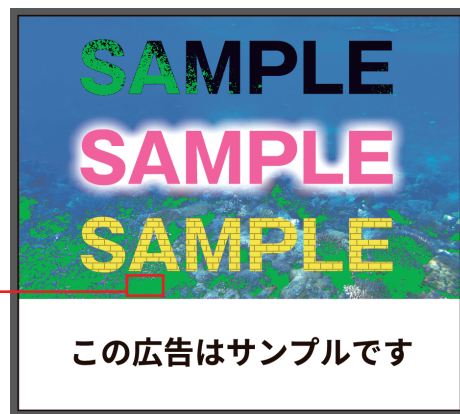
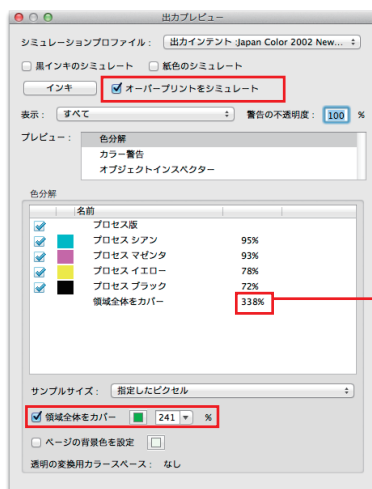


[表示]メニューの[ツール]から[印刷工程]にある[出力プレビュー]を選択する。

(Acrobat9は、[アドバンスト]メニューから)

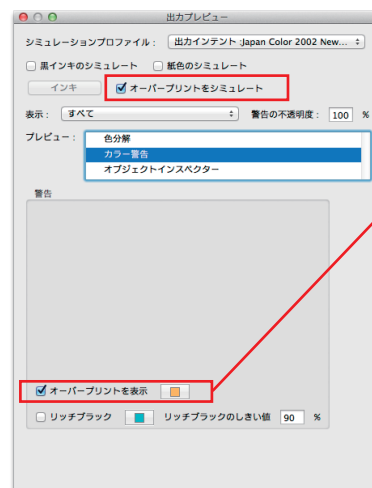
総インキ量(TAC 値)の確認方法

[領域全体をカバー]を選択して、241%を入力すると、総インキ量(TAC値)240%を超える部分が緑色で警告表示される。この状態で、警告表示された部分にカーソルを移動すると[色分解]のウィンドウにインキ量が表示される。



オーバープリントの確認方法

- [オーバープリントをシミュレート]を選択し、画面上でオーバープリントをシミュレーションする。
- [色分解]パネルで各版を個別に確認する。
- [カラー警告]パネルでオーバープリントを表示を選択する。



パターンが分割・拡張されていない場合も警告が表示されます。

入稿方法について

入稿データ

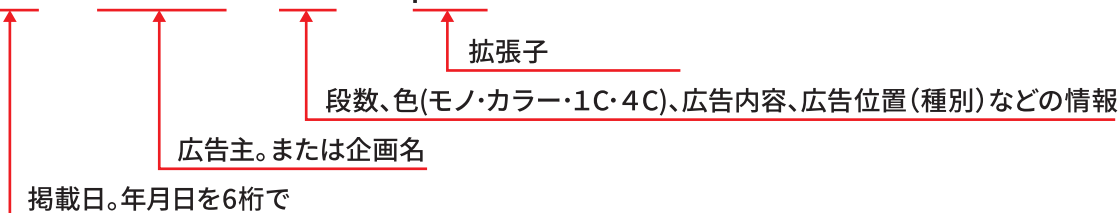
N-PDF形式のデータ(N-PDFプリフライトチェック済み)のみを入稿してください。また入稿前に、データのウイルスチェックを行ってください。

ファイル名の付け方

ミスなく作業できるよう、下記を参考に、わかりやすいファイル名を付けて下さい。

〔ファイル名の見本〕

日付 + 広告主名(+補足) + .pdf



例) 180514母の日企画5段カラー.pdf(日付+企画名+.pdf)
 180514かぼす観光社題字下.pdf(日付+広告主名+原稿位置+.pdf)
 180514かぼす工務店3dモノ.pdf(日付+広告主名+段数+色+.pdf)

◎ファイル名には半角カタカナと半角記号を使用しないでください。

次の文字は使用できません。「 / : ; , * ? " < > | ?

◎アンダーバー[_]および拡張子のドット[.]は使用可。

念校、色見本について

念校ゲラは必要ありませんが、**入稿前に広告の審査を必ず済ませておいてください。**色見本がある場合は添付してください。

入稿締切について

モノクロ・カラー原稿ともに

掲載日前々日(2営業日前)の午後2時まで。

※土、日、祝日は入稿の対応ができません。土・日・祝日と休み明けの掲載分は、休前々日にすべての入稿を完了して下さい。大型連休・年末年始等の長期連休の前には、入稿締切を別途ご連絡させていただきます。

入稿データの修正について

- 入稿するN-PDFデータは**完全原稿としての入稿に限ります。**
- デジタル入稿されたN-PDFデータの**象嵌(ぞうがん)**、訂正は、弊社では一切行いません。
- 改稿が発生した場合は、データを修正してデータの再入稿をお願いします。
- 入稿データに不備があった場合に備え、制作担当者がすぐに対応できるようにしておいてください。



企画物の入稿について弊社が企画した広告の場合、入稿方法や入稿寸法、入稿締切日に変更がある場合があります。その都度、企画書等にてご案内いたしますので制作はそれに従ってください。

広告原稿制作サイズ

記事下サイズ

段	縦(mm)	横(mm)
1段	31	379
2段	65	
3段	99	
4段	133	
5段	168	
6段	202	
7段	236	
8段	271	
9段	305	
10段	339	
11段	374	
12段	408	
13段	442	
14段	477	
15段 (社野あり)	511	379
15段 (社野なし)	515	382
30段 (社野あり)	511	785.5
30段 (社野なし)	515	789.5

割り	横(mm)
1/2	188
1/3	125
1/4	93
1/5	74
1/6	62
1/7	53
1/8	46

雑報サイズ

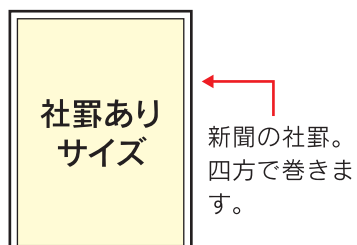
種別	縦(mm)	横(mm)
1面 特殊雑報	41	77
テレビ面 番組下	65	65
記事下	20	62.5

全広サイズと社野について

全広(15段や30段)では、2つのサイズがあります。新聞の社野を付ける「社野あり」サイズと、付けない「社野なし」サイズです。社野の付け方に合わせたサイズで、制作をして下さい。

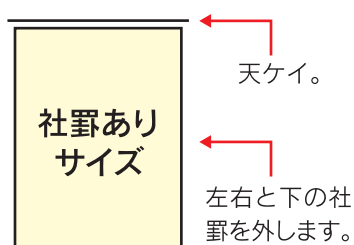
◎社野あり(四方ケイあり)

- ・広告野で巻かなくてもよい。
- ・社野ありサイズで制作
※社野なしサイズだと縮小



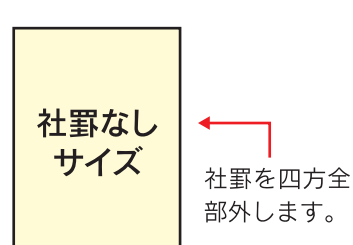
◎天ケイのみ(三方ケイなし)

- ・基本、広告野で巻く。
- ・社野ありサイズで制作
※社野なしサイズだと縮小



◎社野なし(囲みケイなし)

- ・広告野で完全に巻く。
- ・社野なしサイズで制作
※社野ありサイズだと拡大



[参考資料]

「新聞広告デジタル制作ガイド N-PDF ver.1.1 (2012)」((社)日本広告業協会)

大分合同新聞デジタル制作N-PDF広告入稿ガイド

Ver.1.05

発行日:2020年4月1日

Ver.1.00	2018年 3 月 1 日
Ver.1.01	4 月 1 日／問い合わせ先部署名を変更(1P、21P)
Ver.1.02	4 月27日／大分合同新聞社のスクリーン設定を変更(2P)
Ver.1.03	9 月 1 日／日本広告業協会WEBサイトを変更(4P)
Ver.1.04	2020年 4 月 1 日／広告原稿制作サイズを変更(20P)
Ver.1.05	2023年 4 月 1 日／日本広告業協会WEBサイトを変更(3P) 日本広告業協会WEBサイトを変更(4P) 広告原稿制作サイズを変更(20P) 問い合わせ先を追加(背表紙)
Ver.1.06	2023年 7 月 1 日／スクリーン線数を変更(2P)

<本ガイドに対するご意見、ご質問の問い合わせ先>

大分合同新聞社ビジネスサポート部 TEL:097-538-9641

- ☐ 本 社 営 業 部 〒870-8605 大分市府内町3-9-15
Tel.097-538-9642 Fax.097-538-9681
- ☐ 東京支社営業部 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1日本プレスセンタービル4階
Tel.03-6205-7881 Fax.03-6205-7882
- ☐ 福岡支社営業部 〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-36天神NKビル 8 階
Tel.092-741-7584 Fax.092-741-9107

■本ガイドの仕様は予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

Apple、Macintosh、MacOSはApple inc.の商標で、米国および各国で登録されています。

Adobe Acrobat、Illustrator、Photoshop、InDesignおよびPostscriptはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

その他記載されているブランド名・製品名は、個々の所有者の商標、もしくは登録商標です。